

ビジョン 目指すところ

- ・どんなことを実現したいのか
- ・社会にどんな貢献をしたいのか
- ・どんな社会の姿を目指しているのか
- ・まわりにどんな認知をされたいか
- ・ライフスタイルやワークスタイル
(起業／雇用／副業／パラレルワーク
市民活動／趣味 など)



どんな人／場面が対象か

- ・幸せにしてあげたい人は
- ・属性（性別、年代、生活習慣、好み、
ライフステージ、ライフスタイルなど）
- ・こんな場面に、こんな瞬間に

その人の悩み・理想・憧れ

- ・どんなことを悩んでいるのか
- ・何をほしがっているのか
- ・何を知りたいのか
- ・どんな心理状態か
- ・どんな感情を満たしたいのか
- ・未来にどうなりたいのか
- ・理想のライフスタイル

商品・サービスの形

- ・有形か無形か
- ・メニュー、商品名
- ・商品説明（手順、特徴）
- ・料金体系
- ・申し込み、購入方法
- ・販売経路

商品やサービスの魅力・価値

- ・お客様にどんな効果や変化を提供できるのか
- ・お客様のどんな未来やライフスタイルを実現できるのか
- ・お客様はどんな心理状態になれるのか
- ・何が減って、何が増えるのか
- ・なぜ、あなたのサービスが必要といえるのか
- ・喜ばれること、感謝されること
- ・ほかのサービスとの圧倒的な違いは
- ・社会的意義

あなたの軸となる思い

- ・なぜその仕事・活動をしたいのか 芯にある思い
- ・行動基準、信条、ポリシー、あり方
- ・使命感、価値観
- ・どうしてもやりたいこと／どうしても嫌なこと
- ・口ぐせのように言っていること
- ・それを思うと勇気や力がわいてくることは
- ・この人生でしないと後悔することは

自分とビジネスを
1本の樹として
とらえます。
すべての要素は
つながっています。



あなたのバックグラウンド

・性格、気質

・雰囲気
印象

・環境

・人から
頼まれやすいこと

・才能、特技
得意なこと

・経歴、職歴
資格

・好き／嫌いなこと

・ターニング
ポイント

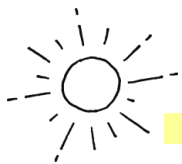
・特殊な体験
どん底

・感激、感動したこと

・苦勞、嫌な思い、怒り

・どうしても
ストレスに
感じるこ

・疑問、違和感を
感じるこ



ビジョン
目指すところ



どんな人／場面が対象か

その人の悩み・理想・憧れ



商品・サービスの形

商品やサービスの魅力・価値

あなたの軸となる思い

あなたのバックグラウンド



考え方について

チラシやパンフレット、プレスリリース、ブログ記事...

プロフィール文に告知文...

これらを作成するときは、自分のビジネスの全体像（次の7つの要素）をきちんと把握できていることが必要になります。

- あなたの提供する商品・サービスの形
- あなたの提供する商品やサービスの魅力・価値
- どんな人／場面が対象か
- その人の悩み・理想・憧れは
- あなたのバックグラウンド
- あなたのビジョン・目指すところ
- あなたの軸となる思い

何かを告知する、何かを作成する作業とは、伝えたい相手や意図に合わせ、この7つの要素（視点）を組み合わせ、文字化する作業になります。そして、この7つの要素につねに立ち戻る作業が不可欠です。

このワークは、あなたのビジネスとあなた自身を「1本の樹」としてとらえながら、上の7つの要素を整理します。あなたという樹に実っている果実（商品やサービス）を、鳥さん（お客様）が「どんな味がするのかな？」と見ている様子をイメージしながら書き出してみてください。

これは、文章をつくるための要素の関係を、視覚的につかむことをねらいとしています。ぜひ、じっくり時間をかけて取り組んでみてくださいね。



書き方について

◆1枚目を横に置いて、2枚目（白紙のシート）に書き込んでください。どこから書き出してもOKです。決まりはありません。迷ってしまう方は太陽のところ（ビジョン・目指すところ）から書き出してみてください。

◆このPDFはA4サイズで作成してありますが、書き出すスペースが小さく感じられることがあるかもしれません。可能であれば、A3サイズの用紙にプリントアウトして、書きこまれることをおすすめしています。

（※スマホやUSBメモリにこのPDFデータを保存し、コンビニのマルチコピー機で、用紙サイズをA3に設定して出力してみてください）

◆直接紙に書き込んでもOKですが、横長タイプのふせんに書いてどんどん貼り足し、違和感を感じる時は移動したり、削除したりするのもいいと思います。

◆複数の事業をお持ちの場合や、お客様像が複数あるという方もいらっしゃるかもしれません。その場合は、訴求するポイントが異なることがあるので、用紙を別にして「その数の分×このワーク」を行ってください。

◆書き出しができれば、しまわずに、いつも目にとまる場所（パソコンの近くやデスクなど）に貼っておくことをおすすめします。つねに視覚からインプットされることで、伝えたいことが有機的につながってくるので、文章がまとまりやすくなってきます。